

被爆

77年

# 核兵器廃絶へ

# 世界はすすむ



## 核兵器禁止条約 第1回締約国会議

## 共産党は代表派遣

核兵器禁止条約の第1回締約国会議が6月、オーストリアの首都ウィーンで開かれました(写真上)。ロシアによる「核の威嚇」が世界をおびやかしているもとの、会議の「ウィーン宣言」は、「核抑止論」をきびしく批判。「核兵器のない世界」にむけて希望ある力づよいメッセージを発するものとなりました。

日本政府は会議に背を向けましたが、日本共産党は代表団を派遣、各国の外交官や市民社会の代表団と幅広く意見交換し、会議の成功に力をつくしました。



8月の核不拡散条約(NPT)再検討会議の議長を務めるマレーシア国連大使のサイド氏と懇談する、原水爆禁止日本協議会、日本原水爆被害者団体協議会の代表と日本共産党の筈井亮衆院議員=6月21日、ウィーン



核兵器禁止条約第1回締約国会議のクメント議長に要請文を手わたす筈井議員=6月19日、ウィーン